

# 一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

## 2019年度第4回(通算第58回)理事会 議事録

1. 開催日時：2019(令和元)年12月8日(日) 11:02～14:58(昼休憩 12:42～13:32)
2. 場 所：「加瀬の貸会議室」 2階 第3会議室(横浜市港北区新横浜3-19-11 加瀬ビル88)
3. 審議事項および資料
  - 第1号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)
  - 第2号議案(専権等の報告) 2019年度第3回業務執行報告(総務系)
  - 第3号議案(専権等の報告) 2019年度第3回業務執行報告(事業系)
  - 第4号議案(専権等の報告) 理事会前日会議の報告
  - 第5号議案(専権等の報告) 災害対策委員会の事業協賛依頼について
  - 第6号議案(決議) 新入会者の承認について
  - 第7号議案(決議) 事務局設置規則の改定について
  - 第8号議案(決議) 事務局参与の任命について
  - 第9号議案(決議) 車椅子姿勢保持適合技術連絡会への加盟について
  - 第10号議案(決議) 第34回リハ工学カンファレンス in さっぽろ開催報告
  - 第11号議案(決議) バリアフリー2020 出展について
  - 第12号議案(決議) HCR2020 出展について
  - 第13号議案(決議) 事業委員会「国際連携推進委員会」更新
  - 第14号議案(決議) 福祉機器コンテスト2020 実施計画(案)と予算(案)について
  - 第15号議案(決議) 福祉機器コンテスト事務局との契約について

4. 理事総数 14名

出席理事数 13名

会長(代表理事) 桂律也

理事 石濱裕規、江原喜人、岡野善記、剣持悟、杉本昌子、鈴木太  
谷口公友、中村俊哉、西村颯、村田知之、森田千晶、水澤二郎

監事 赤澤康史、伊藤和幸

事務局 深野栄子

欠席理事 植田瑞昌

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 定款第49条に基づき、議長となる会長の桂律也が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。

(2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の岡野善記と剣持悟の2名を選出した。

第1号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)

水澤副会長(総務統括)より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼について報告され、追認で承認された。

承認12、非承認0(会長除く)

- ・ 2019/10/18 後援 介助犬のひろば実行委員会様より「介助犬のひろば in 北河内2019」(2019/12/1～3)
- ・ 2019/10/22 後援 特定非営利活動法人バイオフィリア リハビリテーション学会様より「第23回バイオフィリア リハビリテーション学会大会」(2020/2/10～11)
- ・ 2019/11/29 後援 公益社団法人日本理学療法士協会様より「第55回日本理学療法学会学術研修大会 2020 in おおいた」(2020/5/23～24)

## 第2号議案（専権等の報告）2019年度第3回業務執行報告（総務系）

水澤副会長（総務統括）より、各業務執行理事の業務執行状況（2019年10月14日～2019年12月7日）が報告され、追認で承認された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

承認12、非承認0（会長除く）

### ■ 総務統括／規則選挙担当／事務局担当：水澤

- ・ 総務系理事に対して、理事会・総会担当理事からの指示の元、11/27〆切として業務執行報告書の提出を求めた（10月14日～12月7日分）
- ・ 事務局
  - ・ 法人としての事務局を運営し、法人会計の更なる整備を進めた
  - ・ 部門別・科目別の新コードでの会計処理をした昨年度決算を受け、更なる整備を進めた
  - ・ 後援・協賛予定：継続依頼分のみ専権として承認回答（後援3件）
  - ・ 役員交代挨拶状送付
  - ・ 19会費未納者97名、18・19会費未納者27名 計124名へ会費納入のお願い送付
  - ・ 展示会出展における広報活動 なし
  - ・ チャットワークを利用して理事会運営の効率化を図る：チャットワーク運用の準備を行った

### ■ 財務担当：岡野

- ・ 通常経理業務執行
- ・ SIG・支部会計情報収集及び経理業務統合検討
- ・ 連結決算の内容確認及び改善についての検討

### ■ 総会・理事会担当：江原

- ・ 理事会開催
  - ・ 2019年度第3回（通算第57回）理事会議事録の取りまとめを行った
  - ・ 2019年度第4回（通算第58回）理事会開催のための準備を行った
- ・ 総会開催
  - ・ 2019年度定時社員総会議事録の取りまとめを行った

### ■ 広報・渉外担当：杉本

- ・ WEB管理委員会活動
  - ・ 協会HP更新（会長挨拶、役員名簿、J-STAGE登録、災害対策セミナー等）
  - ・ 会員News配信（1件）、FreeML（12件）、Facebook（1件）
  - ・ Googleアカウントについては第3期使用なし
- ・ 協会リーフレット更新
  - ・ 第2期に完了
- ・ オンラインストレージの利用
  - ・ Drive導入開始、運用方法等の整備、理事会ML、Dropboxアクセス権更新

## 第3号議案（専権等の報告）2019年度第3回業務執行報告（事業系）

中村副会長（事業統括）より、各業務執行理事の業務執行状況（前回理事会（2019年10月14日）から本理事会前日（2019年12月7日）まで）が報告され、追認で承認された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

承認12、非承認0（会長除く）

### ■ カンファレンス担当：剣持・鈴木

- ・ 第34回ハ工学カンファレンス in さっぽろ
  - ・ 10/26開催の実行委員会に参加。報告書の修正、会計の途中経過を確認
- ・ 第35回ハ工学カンファレンス in 北九州準備
  - ・ 実行委員会にて準備金請求あり。事務局より入金済
  - ・ 実行委員会を開催し、実施要項の校正中
- ・ 第36回ハ工学カンファレンス（2021年）準備
  - ・ 富山開催が難しいとのことで、中部支部にて検討を依頼
  - ・ 中部支部で対応できない場合に備え、他の支部での大会開催が可能か打診を開始

■ コンテスト担当：村田

- ・ 福祉機器コンテスト2019
  - ・ 協賛企業へ原稿依頼
- ・ 福祉機器コンテスト2020
  - ・ 1次審査会及び2次審査会について、コンテスト事務局との調整
  - ・ 2次審査会及び表彰式等について総会・理事会担当及び事業統括との調整

■ 協会誌担当：石濱・桂

- ・ 編集委員会の開催
  - ・ 2019年10月13日の第3回編集委員会、第3回投稿規定検討委員会は台風のため中止とした。以降、編集委員会については、Chatwork上の意見交換にて作業を進めた
- ・ 協会誌発行予定
  - ・ vol. 34 No. 4 2019/11 特集「サイエンスを民主化せよーインクルーシブデザインをめざしてー」を発刊した
  - ・ vol. 35 No. 1 2020/2 特集「住みなれた土地（家）で暮らしたいー（仮）」
  - ・ vol. 35 No. 2 2020/5 未定につき、執筆依頼、特集内容の検討、進捗確認を進めた
- ・ 投稿論文（査読依頼）
  - ・ 2019年度の新規投稿2件 うち査読中1件 査読依頼中1件 2018年度 査読中2件、掲載3件
  - ・ 第3回投稿規定検討委員会開催予定は次回編集委員会併催にて日程調整中
- ・ 協会誌の段階的電子化
  - ・ 協会誌にて、J-stage 電子公開を34-4号にて会員に案内、協会HPにリンクバナーを開設。現在、33巻が会員公開されており、今後、前後1号を順次公開するとともに、報告については、34-4号以降、直近号より協会HP上にてオープンアクセス公開予定である

■ 分科会・専門委員会担当：谷口・植田

分科会(SIG)/企画(副)研修担当：谷口

- ・ SIG活動支援
  - ・ SIGのありかた検討委員会の設置
  - ・ チャットワークに委員会の専用スレッドの設置
  - ・ SIG内部化に伴う各分掌からの目標課題の収集
  - ・ 支部代表者会議(8/22)の開催
  - ・ 協会誌Vol134 No3に掲載する情報の集約、調整分科会：支部

分科会(支部・委員会)/企画(副)展示会：植田

- ・ 分科会：支部
  - ・ 協会誌Vol134 No4に掲載する支部お知らせページに関する調整(支部セッションの報告)
- ・ 専門委員会：災害対策委員会
  - ・ 第3回災害対策リハ工学セミナーの準備及び開催・運営
  - ・ 第3回災害対策リハ工学セミナーの決算報告
  - ・ 11月14日 JRATの戦略会議に出席
  - ・ 11月21-22日 2019年JASPA災害復興車椅子メンテナンスに協力
  - ・ 11月30日~12月1日 JRAT地域JRAT 全国研修会に参加

■ 企画担当：西村・谷口・植田・中村

- ・ 頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査2020の実施
  - ・ 実態調査に係る全国頸損連・実行委員会との調整
  - ・ 実態調査の中間報告並びに最終報告に関する調整

■ 国際担当：桂・森田

- ・ 国際義肢装具学会(神戸) ISPO2019 in Kobe, Japan (2019/10月5-8日 Assistive Technologies against Ageing Society- WHO Symposium)において、日本リハビリテーション工学協会より推薦した国リハ井上氏がシンポジストとして発表
- ・ ISPO2019については、全日程参加の河合氏に協会誌原稿依頼
- ・ GAATO ボードミーティング(online)(2019/10月22日)国リハ井上氏より経過報告
- ・ 桂氏翻訳にボローニャ宣言の日本語最終版が完成

#### 第4号議案（専権等の報告）理事会前日会議の報告

水澤副会長（総務統括）、より、理事会前日12月7日（土）開催の理事会前日会議として以下の各種委員会および統括会議の報告がされた。

日時：2019年12月7日（土） 12:00～18:00 場所：横浜市スポーツ医科学センター 中研修室  
出席者：桂、水澤、中村、江原、岡野、杉本、石濱、植田、剣持、鈴木、西村、村田、森田、深野

##### 【会議1】理事会および理事業務等について 12:00～13:20

理事会の体制が新しくなり、新任の理事を含めた全ての理事において理事会業務が円滑に行えるように「理事会および理事の業務を理解し、認識の共有化を図る」ことを目的として、以下の事項についての説明を行った。

- 一般社団法人の理事について
- 理事会等会議について
- 各理事の業務レベルについて
- 理事業務執行のスケジュールについて
- 「事業計画（予算要求）」と「事業報告」について

##### 【会議2】各分掌の引継ぎ 13:30～16:00

- 企画担当の業務引き継ぎ及び今年度事業について
- SIG担当の業務引き継ぎ及びSIG統合についての経過説明と今後の課題について
- 支部担当の引き継ぎ及び支部の活性化、支部活動費等に関する確認と今後の課題について
- コンテストの引き継ぎ及び表彰式開催、コンテスト事務局委託について
- 国際担当の引き継ぎ及び国際連携についてのこれまでの経過、国際連携団体について

##### 【会議3】Web管理委員会より 16:10～17:30

- 広報依頼（協会WEBサイト、会員メーリングリストへの配信）の手順等について
- 協会SNSの利用方法について
- 外部ストレージの運用とデータ管理について

##### 【会議4】その他 17:40～18:00

- 災害対策委員会

JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）の一般法人化、活動の方向性、年会費等について

#### 第5号議案（専権等の報告）災害対策委員会の事業協賛依頼について

分科会・専門委員会担当の植田理事（代理 中村副会長）より、昨年度に引き続き災害対策事業の企業協賛の目的を、協賛企業からの理解も得られやすいように、当協会が行う災害対策・復興支援活動全体への協賛として実施したいと依頼文書が提示され、セミナー企画案を提示の上次回理事会で議案提出することとし、継続審議となった。

これまで当協会では復興支援講習会や災害対策セミナーを行う際に、各企業からの協賛金を募り実施してきた。これは、リハ工学分野の普及に一定の役割を果たしてきたが、近年頻発している災害の際に当協会として被災地支援活動をする必要性が出てきている。熊本地震の際には日本財団の助成金を獲得して支援活動を実施したが、助成金では発災時に迅速に活動できないなどの問題がある。本協会の財政事情から自己資金での活動にも限界があり、災害対策活動を行うに際して、方策を検討する必要性が高まっている。

そこで、昨年度に引き続き企業協賛の目的を、当協会が行う災害対策・復興支援活動全体への協賛として実施したい。このほうが協賛企業からの理解も得られやすいと考えられる。なお、協賛金を集める方法や、協賛企業のメリット（復興支援Tシャツ等へのロゴ掲載）は従来通りで考えている。

また、発災時の被災地支援活動には多額の資金が必要となることを鑑みて、本協賛金の余剰金が生じた場合は次年度の当事業へ繰り越し処理を行い、有効活用する。協賛を募る際にはそれを十分に説明した上で、各企業に理解を求める。

#### 第6号議案（決議）新入会者の承認について

水澤副会長（総務統括）より、2019年度第3回（通算第57回）理事会以降のメーリングリストによる確認及び承認をおこなった者以降、今回の理事会までの入会者2名（2019年度下半期正会員2名（予約2020年1月1日付））の入会について提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

#### 第7号議案（決議）事務局設置規則の改定について

水澤副会長（総務統括）より、現行の事務局設置規則は当会が一般社団法人として登記した当時（2010年11月）のものであり、法人移行後、当会が実施する事業は従来事業に加えて新規事業を含め発展・拡大の一途を辿っており、このことは協会事業の土台となる事務局業務の負担増という結果を招き、ひいては円滑な協会事業運営にも影響を与えかねないため、当該規則を以下に改定したいと事務局設置規則（案）、事務局設置規則改定新旧対照表を提示の上、提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

・条項の追加「参与」

（事務局参与）

第5条 定款第6条第3項の規定に従い任命される重要な職員を特に事務局参与として置くことができる。

2 事務局参与は、重要な事務局職務のうち特に定める重要な事項に参与する。

3 事務局参与の任期は、任命時に定める2年以内の期間とする。ただし再任は妨げない。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が理事会の決議により別に定める。

#### 第8号議案（決議）事務局参与の任命について

桂会長より、当法人の事務局参与として、沖川悦三氏を任命したいと提案され、審議の結果、満場一致で承認された。  
承認12、非承認0（会長除く）

任期：任命時（2019（令和元）年12月8日）～2021（令和3）年12月7日

・2年の任期中に事務局業務の効率化や事務局規定の作成等について検討する

#### 第9号議案（決議）車椅子姿勢保持適合技術連絡会への加盟について

水澤副会長（総務統括）より、テクノエイド協会を核として車椅子の講習会を開催している各団体が集まり車椅子シーティングに関する講習会カリキュラムの基礎部分を合同で作成し、各団体がそれを活用して基礎講習会を開催できる枠組みを作ろうということになり（基礎講習内容の一元化）、現在その準備を進めているが、当協会もそれに賛同し、協力していく必要があると考え、車椅子姿勢保持適合技術連絡会への加盟について提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

#### 第10号議案（決議）第34回リハ工学カンファレンス in さっぽろ開催報告

カンファレンス担当の剣持理事、鈴木理事より、第34回リハ工学カンファレンス in さっぽろの事業報告および収支報告について、第34回リハ工学カンファレンス in さっぽろ実施報告書、決算報告（監査報告書）が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

#### 第11号議案（決議）バリアフリー2020 出展について

中村副会長（事業統括）より、バリアフリー2020（2020年4月16日～18日@インテックス大阪）については、本年度の事業計画にて予算とともに承認を得ており、それに基づき、出展準備を進めたいが、念のため確認として提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

- ・運営やセミナーの企画・実施については、関西支部に委託・協力の上、進める
- ・出展申込〆切は2020年1月16日（木）

#### 第12号議案（決議）HCR2020 出展について

中村副会長（事業統括）より、HCR2020（2020年10月21～23日@東京ビッグサイト）については、2月上旬～3月末にかけて募集が開始され、これまで15年継続して出展し続けているが、継続出展の効果があること、コンテストははじめ各事業で出展機会を活用し計画していること、特にコンテストに関してはHCRにて受賞作品の発表・表彰・広報をしていることが特に重要であること、日本最大の福祉機器展に当協会が出展する意義を鑑みて、2020年度も引き続き出展したいと

考え、3月理事会では、切直前となるため、事務手続き上の点から本理事会において出展の承認を得たいと提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

- ・ HCR2020の会期は2020年10月であり、当協会の2020年度事業に当たるが、出展申込および出展料納付期限が例年開催の前年度中までとされ、2020年度事業計画案・予算案の確定に先行して出展手続きを進めざるを得ない。これまで長期に渡り継続出展してきたことで、福祉用具関係者への当協会の露出度や認知度が年々向上しており、日本最大の福祉機器展に当協会が出展する意義は高いと考えられる
- ・ これまでの本展示会への出展は単なるブース内での協会広報に留まらず、福祉機器コンテスト表彰式や受賞作品展示、企画推進事業（セミナー開催）など多事業に渡って出展機会を有効活用してきた。これらの活動により、この分野の情報・知識・技術等の普及という当協会の公益目的活動を実施する重要な機会として機能している

#### 第13号議案（決議）事業委員会「国際連携推進委員会」更新

国際担当の森田理事より、理事会のもとに設置した事業委員会「国際連携推進委員会」の更新について、提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

- ・ 委員の選任（委嘱状発行、HP等への広報も含む）
- ・ 任務、構成及び運営に関して必要な内規の再確認

#### 第14号議案（決議）福祉機器コンテスト2020実施計画（案）と予算（案）について

コンテスト担当の村田理事より、福祉機器コンテスト2020実施について、の実施要綱（案）、予算（案）、選考委員名簿（案）提示の上、提案があり、審議の結果、事務局委託費720,000円のみ満場一致で承認されその他に関しては継続審議とした。

承認12、非承認0（会長除く）

- ・ 消費税増税分を考慮した20,000円分を増額とした
- ・ 今年度決算をもとに予算案等の事業計画を作成し3月の理事会にて議案提案予定

#### 第15号議案（決議）福祉機器コンテスト事務局との契約について

コンテスト担当の村田理事より、福祉機器コンテスト事務局を、来年度も引き続き有限会社車座にお願いしたい（契約期間は2020年3月1日より2021年2月28日）と契約書提示の上、提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認12、非承認0（会長除く）

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2019（令和元）年度第4回（通算第58回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（14時58分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2019年12月8日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2019年度第4回理事会

議 長 桂律也

議事録署名人 岡野善記

議事録署名人 剣持悟